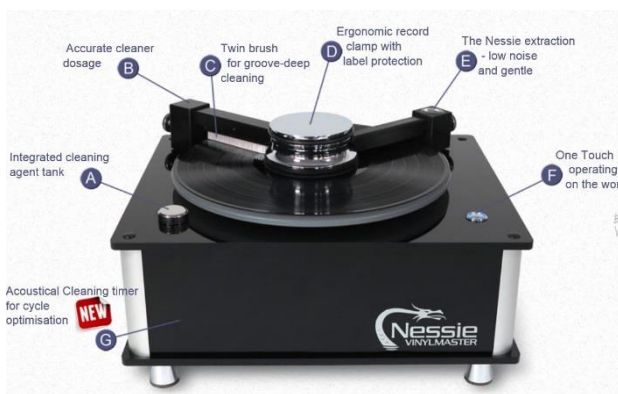




Nessie Vinylmaster



made in Germany



ネッシー・バイニルマスター取扱説明書

保証概要

本製品の保証期間はご購入後2年間となっています。保証期間中の保守は、領収証のコピーを添えて弊社にご送付下さい。自己流の修理や改造をしたものは保証が無効となります。また泡の出るクリーニング液や、腐食性のある溶液を使用した場合も保証が無効となります。

修理、保守のご依頼は必ず専用の梱包箱に収納した上で弊社までお送り下さい。

アンダンテラルゴ株式会社

〒189-0013 東京都東村山市栄町 2-31-16-201

Tel : 042-393-3412

E-mail : info@andante-largo.com http://www.andante-largo.com

安全にご使用いただく為に必ずお読み下さい

この度はネッシー・レコード・クリーナーをお求め頂き誠に有難うございます。このクリーナーを有効にご利用いただく為に、ご使用開始前に必ずこの説明書をお読み下さい。

◆ ご注意:

- ターンテーブルの回転力は極めて強力なものです。本機は小さなお子様の手の届かない場所で使用し保管して下さい。
- 引っかけやすい衣服などを着用しながらの操作は決して行わないで下さい。
- ご使用に当たっては必ず本機の下にビニールシートや新聞紙等を敷き、周辺にも 万一の洗浄液の飛散に備えてコの字型のつい立て等でクリーナー本体の周りを囲って使用して下さい。
- 高価で精密な機器の付近では絶対に使用しないで下さい。やむなく機器が付近にある場合は必ずビニールシート等で機器全体を覆いかぶして機器を十分に保護してから操作して下さい。
- 外部排水ホースの開閉栓は必ず閉じた状態であることを常に確認しながらご使用下さい。特に移動した直後はこの点にお気を付け下さい。
- 機器のご使用上、万が一にも発生したレコードや周辺機器の損傷に対して弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。

◆ 重要:

1. 可燃性の物の上では使用しないで下さい。
2. 安定した台の上でご使用下さい。
3. 換気のよい部屋でご使用下さい。
4. 湿気のある場所には保管しないで下さい。
5. 小さなお子様が操作したり、遊んだりしないようにお気をつけ下さい。
6. 誤ってクリーニング液を飲用したり目に入れないようにお気をつけ下さい。
7. クリーニング液はお子様の手の届かないところに保管して下さい。
8. クリーニング液を周辺にこぼさないようお気をつけ下さい。
9. 使用しないときは主電源のケーブルを引き抜いておいて下さい。
10. 本機を使用する前に電源ケーブルの破損等がないことをご確認下さい。
11. 部品の交換は必ず、純正品をご使用下さい。
12. 万一、発煙・発火等が起きた場合はすぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて下さい。
13. 本機をレコード・クリーニング以外の目的に使用しないで下さい。
14. 洗浄操作中はその場所を離れずに、常に注意を持って操作して下さい。

組立て：本体の設置、アームの取付け



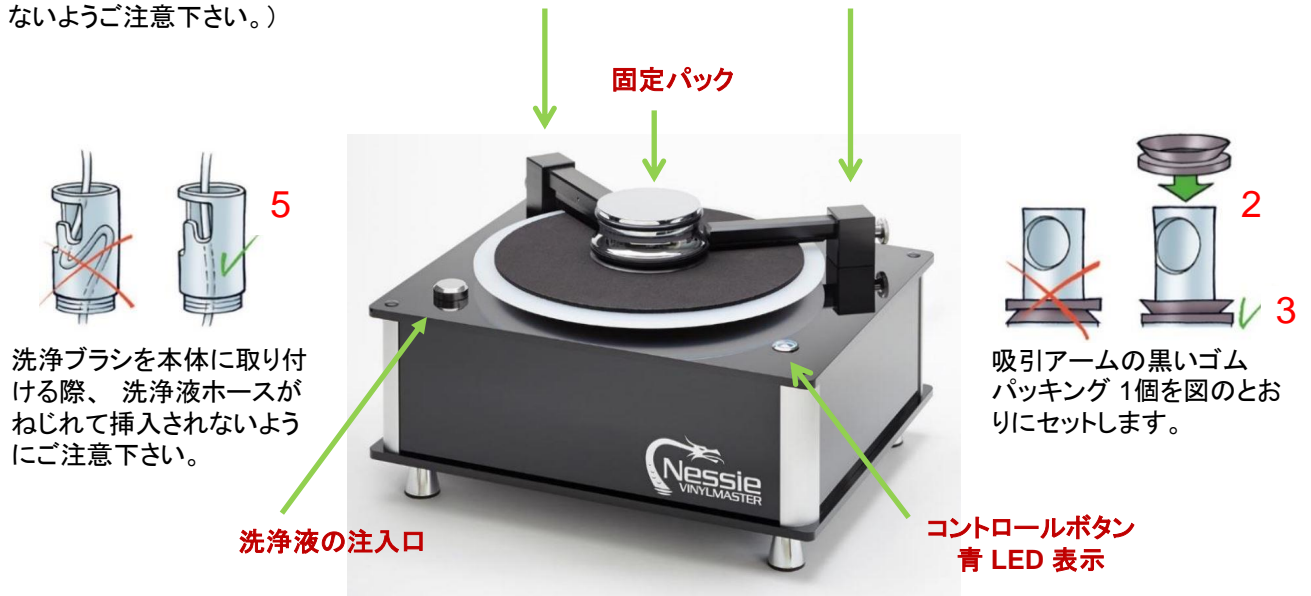
洗浄ブラシの取付け

左奥のアームスタンド⑤から出ている洗浄液ホースを写真の様に挿入したら横の切れ込みにノブ④のネジ部分が収まるようにしてしっかりと締めます。また、使用後は水洗いと乾燥をさせて下さい。
(洗浄アームを外すときは、ホースが本体の中に落とさないようご注意ください。)



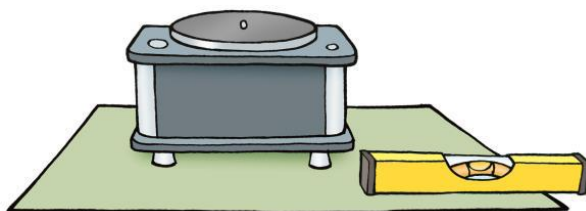
吸引アームの取付け

右奥のアームスタンド②に吸引アームを挿入したら横の切れ込みにノブ④のネジ部分が収まるようにしてしっかりと締めます。その際、黒いゴムパッキングが下図のようになっていることを確認します。



洗浄ブラシを本体に取り付ける際、洗浄液ホースがねじれて挿入されないようご注意ください。

吸引アームの黒いゴムパッキング 1個を図のとおりセットします。



本体の設置

本体の脚を回して高さ調整、水準器を使用し水平にセットしてください。本体が傾いた状態で使い続けると故障の原因になります。



電源プラグを接続

奥まで電源プラグをしっかりと差し込み、赤いスイッチを下に押します。電源を入れるとコントロールボタンが青色に点灯します。

洗浄の手順



洗浄ブラシ、吸引アームのスタンバイ位置



栓は必ず閉じておいてください

洗浄前の準備

本体、下部の排水ホースの先端に付いている開閉栓が閉じた状態であることを確認して下さい。栓が開いた状態では正常な吸引が出来ません。

またタービン故障の原因ともなりますのでご注意ください。(写真 右上)

<< 準備 >>

ステップ 1 (洗浄の準備)

洗浄液タンクのキャップ ① を開け、付属の漏斗を使って洗浄液を注入します。タンク内の液は4分の1以上入った状態でご使用下さい。なお、洗浄液の水位が低すぎるとポンプが正常に動作しません。

(写真 A, B)

ステップ 2 (洗浄の準備)

レコードをターンテーブルにのせ、固定パックを中心にセットします。このパックによってレコードのレーベルは洗浄液から守られます。

◆ アドバイス:

特に汚れのひどいレコードでは本格的な洗浄前に付属のクロスでひと拭きしておくとその後に散布する洗浄液の効果をより高めることが出来ます。あらかじめ少量の洗浄液で湿らせた付属のマイクロファイバークロスで軽くレコード面のホコリをふき取ります。その上で本機による本格的なクリーニングを開始します。

(写真 C, D)



Nessie 動画 Youtube



専用洗浄液 バイネリン

Vinylin 500 (500ml)

Vinylin 1000 (1000ml)

Vinylin 2000 (2000ml)



A



B



C



コントロールボタン

D

洗浄の手順

<<クリーニングの開始>>

ステップ 3 (洗浄液の散布とブラッシング)

左奥の洗浄ブラシ⑤をレコードの中心に向けて水平にセットし、ブラシの毛先がレコード面に均等に触れるように調整します。(慣れるまでは両手で操作して下さい)

散布量を増やしたいときはもう一度、コントロールボタン③の僅かに長押しすると追加できます。(ご注意:液が多過ぎると吸引・乾燥の効率が落ちますので、あまり多用しないで下さい) (写真 E, F)

ステップ 4

コントロールボタン③を押すと青ランプが点滅し洗浄を開始します。ブラシから自動で適量の洗浄液が散布され、まもなくレコード一面に広がります。ターンテーブルは一定の間隔で自動反転を繰り返し約70秒後にブザーが鳴り、青ランプの点滅が止って洗浄を終了します。 (写真 F)

<<吸引による仕上げ>>

ステップ 5 (洗浄液の吸引)

洗浄の次は、仕上げの吸引工程です。

洗浄ブラシ⑤をレコード盤からスタンバイ位置(前ページの図を参照)に戻し、代わりに吸引アーム⑥を盤面の中央に向けてセット。自動的に吸引動作を開始します。一定の時間、自動反転を繰り返した後にブザー音とともに吸引が終わりましたら、ターンテーブルがまだ回転している間に速やかに吸引アームを外側のスタンバイ位置(5ページに図)に戻して全工程を終了します。 (写真 G)

ステップ 6 (レコードの乾燥と保管)

クリーニング後のレコードは半日、室内で乾燥させてから新しい内袋(吸湿性、発散性の良い紙製の袋)に収めて保管して下さい。

特に大切なレコードコレクションにはアンダンテラルゴ オリジナルのレコード内袋 AL-100, AL-25をお薦めします。 (写真 H)

また、レコードの乾燥には専用の乾燥台を使うと便利です。(推奨: ベルドリーム社 BD-LKD11乾燥台) (写真 I)

◆ **ご注意:** 古いレコード内袋には塵や埃、カビ菌が付着していることがあります。またビニール製の内袋は湿気を閉じ込めてしまう恐れがありますのでご留意下さい。

ステップ 7 (廃液の処理)

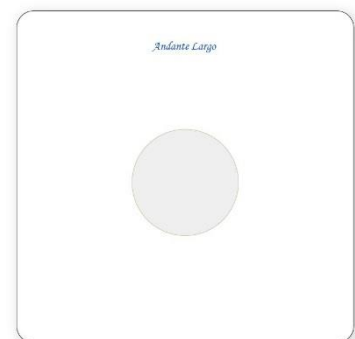
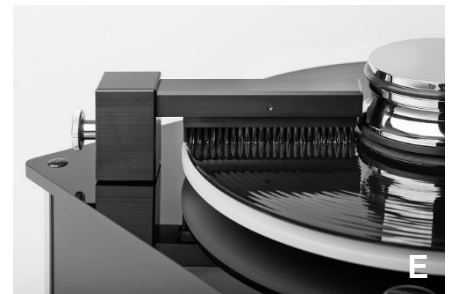
廃液は吸引アーム下のタンクに貯められます。レコード洗浄の作業が終わりましたらその都度、廃液ホースより汚れた洗浄液を排出して下さい。連続して洗浄する場合は少なくとも40枚のレコードを洗浄する度に、廃液を排出してください。逆に少ない枚数の洗浄では廃液がほとんど出ませんがこれは故障ではありません。 (写真 J)

1. 本体下部の前面より排水ホースを引き出します。
2. 容器にホースの先を入れ、開閉栓を開いて排出します。
3. 排出後は栓を必ず閉じてください。
4. 排水チューブを本体下部のものとの固定用磁石の位置に戻します。

◆ マニュアル洗浄

本機は通常のオート機能以外にも、マニュアルで洗浄することができます。

コントロールボタンを押すと回転を始めます。洗浄液は自動散布しませんが洗浄液ボトルから直接、自分で散布しブラシを持って塗布します。別売のシングル盤クリーニングセット等を利用する場合に使用する機能です。



◆ **アドバイス**: 便利な機能

- ① クリーニング開始の直後やしばらく時間を空けて再開したときは、初めに多めの液が散布されます。これは乾いたブラシをあらかじめ湿らせておくことを考慮して、多めに散布するものです。
- ② 特に汚れの酷いレコードを入念に洗浄するために、追加の長時間クリーニング機能を備えています。これは初めに標準のクリーニング・吸引を終わらせた上で、再度コントロールボタン③を3秒、押し続けると動作を開始します。長時間クリーニングの所要時間は約12分。途中、レコード面の液が目減りしますが、コントロール機能によって自動的に洗浄液を追加、散布します。

お手入れについて



洗浄ブラシの洗浄

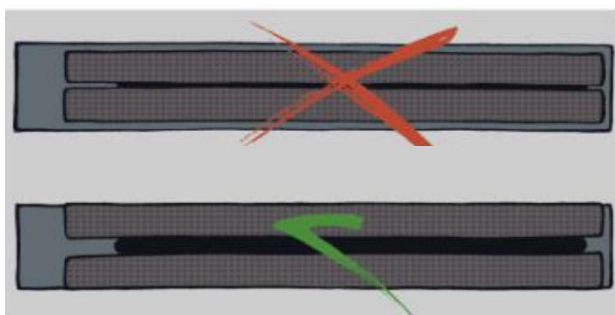
洗浄ブラシは使用后、上写真のように温かい流水で洗い、乾燥させておいて下さい。



吸引アームの清掃

吸引アームは使用后、上写真のようにやわらかい歯ブラシ等で汚れを取り除いてください。アームと軸受けは時々、市販のグリスを少量引、塗布してください。

吸引アームのフェルトは消耗品です



上図のように隙間が狭すぎると正しく吸引されません。フェルトの貼り方にご注意ください。



吸引アーム 交換用フェルト
型番: ベルベット・リップスセット



フェルトの交換

吸引後、以前より盤面に液が残るようになったらフェルトの交換時期です。古いフェルトを親指の爪と腹の部分で擦りながら剥がし、アルコール等で残った接着剤を取り、新しいフェルトを貼ります。

洗浄液タンク・廃液タンクの手入れ

◆ ご注意:

洗浄液には防腐剤を入れておりません。そのため長期間、タンク内に入れたまま放置すると腐敗することがあります。2～3週間以上使用しない場合はタンク内の洗浄液をスポイト等で吸い取り、タンク内を空にして清潔な状態を保って下さい。

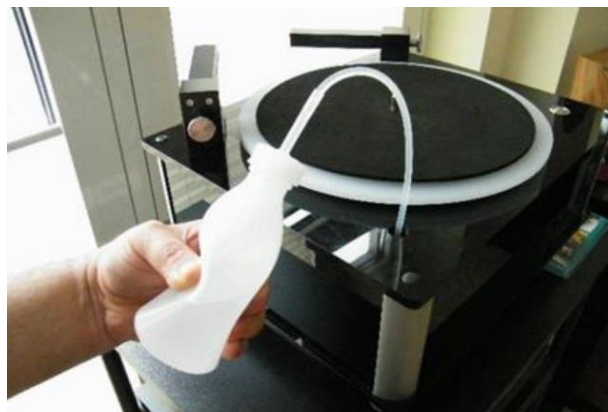
◆ ヒント:

オート散布は多数のレコードを継続して洗浄するには大変便利な機能です。ただし、レコードをいつも少数だけ洗浄した場合はその後のタンク内部を空にする作業が煩雑となります。この場合は液を自動散布せず(タンクに液を入れず)に洗浄液ボトルから直接レコード面に適量を散布することをお勧めします。



廃液タンクの洗浄(右奥、吸引アームの下)

レコードを多数、洗浄した後は時々、廃液タンクの内部を洗浄してください。付属の漏斗を使い、約250mlの温水(40℃前後)を入れます。その後、写真Jのように排水したら栓を閉める。この工程を排水液がきれいになるまで繰り返してください。(温水を入れる時、合わせて「入れ歯洗浄剤」を一粒、投入して2～3時間放置してから排水しますとタンク内の洗浄がより効果的に行えます。



洗浄液タンクの洗浄(左手前)

2～3週間以上本製品を使用しない場合は、付属の洗浄瓶で洗浄液を抜き取ってください。

テクニカルデータ

寸法(縦x横x高さ): 400 x 330 x 250mm

本体重量 : 9 Kg

梱包重量 : 11 Kg

洗浄液タンク容量 : 525ml

廃液タンク容量 : 450ml

回転数(洗浄) : 30 rpm

回転数(吸引) : 15 rpm

電圧 : 100V (50-60Hz)

ダストカバー



クリーナーはいつも清潔に保って下さい。レコードマット等に埃が付くと洗浄したレコード面にまた汚れが移り、洗浄効果が薄れます。別売の専用ダストカバーをお勧めします。

アドバイスとヒントのまとめ

- TIP 1 排水ホースの開閉栓は必ず閉じておいて下さい。
特に吸引時は必ず閉じておいて下さい。開栓状態での吸引は機器の故障の原因となります
- Tip 2 泡を発生する洗浄液は絶対に使用しないで下さい。泡は吸引ポンプの故障の原因となります。
腐食性のある溶液も使用しないで下さい。本機のダメージだけでなくレコード自身にも害があります。
- Tip 3 散布した洗浄液が少な過ぎたり、散布してから時間がたち過ぎて、洗浄液が乾き始めてから吸引を行うとレコード面を傷める等、逆効果となります。
- TIP 4 吸引アームがレコード面以外の位置にある時は、吸引動作を行わないで下さい。排水液が誤ってタービン自身に侵入し故障の原因となることがあります。
- TIP 5 吸引ではターンテーブルの速度が低速(自動)となり、丁寧に洗浄液を吸い取ります。洗浄液が塗布されたレコードは吸引アームの通過と共に乾燥を始めます。短時間の吸引と乾燥により静電気の発生を防ぐとともに、空気中のほこりを引き寄せる間もなく速やかに吸引を完了します。
- TIP 6 良好な吸引・乾燥を行う為に、吸引アーム下部のフェルトとレコード表面がピッタリと均一に接触していることをご確認下さい。
(前頁の写真6)
- TIP 8 吸引アームのフェルトは毛先が立たなくなったら交換の時期です。そのまま使い続けず、早めに交換して下さい。別売の部品：ベルベトリップス(吸引フェルト 2回分)
- TIP 9 本体の使用後はネッシー洗浄液を少量含ませた綿クロス等で軽く拭いてから乾燥を心がけて下さい。
- TIP 10 洗浄ブラシは使用後、柔らかい歯ブラシを使い温水で洗って下さい。
- TIP 11 吸引アームのフェルトに溜まったホコリは定期的に拭き取って下さい。

輸送時の注意

また、本体を車両等にて輸送する時は必ず洗浄液タンク、廃液タンクを空の状態にして輸送して下さい。廃液の処理方法は前述、ページ 5 の項目を参照して下さい。
洗浄液をタンクから抜くには大型のスポイトなどを利用すると便利です。
詳細は弊社までお問合せ下さい。

ネッシー レコードクリーナーで出来ないこと

- レコード表面の傷によるスクラッチの排除。
- 薬品などで変質したレコード表面の修正。

ご注意：

本製品は正常なレコードのためのクリーナーとして設計されたものです。

キズついたり変質したレコードはいかなる方法を持ってしても、修正することは出来ませんので予めご了承下さい。

困ったときは

- Q 1 コントロールボタンを押すと作動音は聞こえるが洗浄液が出ない。
A 洗浄液の残量が基準値以下まで減少すると電磁ポンプが正常に作動しません。最低でもタンク内、4分の1以上のレベルまで洗浄液が入っていることをご確認下さい。
- Q 2 しばらくの期間を使用した後、吸引アーム、洗浄ブラシの動きが悪くなった。
A 洗浄液、廃液などの汚れがタンクに蓄積してしまったことが原因です。
弊社まで内部のクリーニングやオーバーホールをご依頼下さい。